

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課			
		実施期間	S60 ~	E-mail	sangi @ pref.nagano.lg.jp			

### 1 現状と課題

・地域産業の持続的な発展のため、新商品開発や効果的なPR等により、付加価値の向上とブランド力を強化していく必要がある。  
 ・伝統的工艺品産業は、需要の減少や、後継者不足等により悪循環に陥っている。加えてR4年度に実施したリブランディング潜在力全国調査によると、県内伝統的工艺品を認知している割合は、県内認知度が26品目（全28品目中）で40%未満、県外認知度が全品目で35%未満であり、認知度が低いことが改めて浮き彫りになった。

### 2 事業目的

地域資源の高付加価値化や伝統的工艺品の振興を図り、地域産業の活性化を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①地域資源（伝統的工艺品を含む）の利活用企画・商品化支援  
 ・伝統的工艺品の魅力発信、新規ビジネス創出等の事業に取り組む県内企業等を支援する伝統的工艺品地域内循環支援事業補助金の執行見込を踏まえた減額  
 ※その他の事業は当初予算のとおり
- ②伝統的工艺品の魅力発信  
 当初予算のとおり
- ③担い手の育成・後継者確保への支援  
 当初予算のとおり

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	地域資源（伝統的工艺品を含む）の利活用企画・商品化件数	件	—	—	—	20	—	30	△	月2～3件を支援し、年間30件の支援を目標とする。	
②	伝統的工艺品の魅力発信	件	43	61	↗	49	↘	35	△	県下の伝統的工艺品1産地あたり1回以上の発信を目標とする。	
③	伝統的工艺品の担い手育成・後継者確保への支援	者	127	106	↘	84	↘	110	△	過去2年と同水準の後継者支援を実施することを踏まえ、目標値を設定。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-3②	サービス産業等の活力向上	デザサボながの(地域資源製品開発支援センター)による支援件数(2023～2027年度の累計)	件	—	—	—	2023 (R5)	121	2027 (R9)	450	
2-3②	サービス産業等の活力向上	デザサボながの(地域資源製品開発支援センター)の支援による商品化件数(2023～2027年度の累計)	件	—	—	—	2023 (R5)	9	2027 (R9)	100	

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額				
R6年度	0	50,068	△1,400	△1,400	48,668	38,617	△	4.5
R5年度	0	36,917	0	△	36,917	26,387	31,254	4.5
R4年度	0	33,800	0	△	33,800	23,154	32,333	4.5

事業名	<b>地域産業の活性化事業</b>	部局	産業労働部	課・室	産業技術課
-----	-------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
1	<b>地域資源製品開発支援センター事業費</b>	14,123 千円	14,062 千円	予算現額 15,478 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	企画から商品化までの総合プロデュース	直接	総合プロデューサーを配置し、地域資源活用に取り組む企業に対し、企画から商品化までを支援 総合プロデューサー1名配置、支援件数90件	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
2	<b>伝統的工芸品支援事業費</b>	684 千円	684 千円	予算現額 684 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	伝統的工芸品月間事業負担金	負担金	伝統的工芸品の普及、PRを図るため、伝統的工芸品月間（11月）を中心に伝産関係機関、国、県が一体となり、作り手と使い手が直接対話、交流できる場を設置 【全国大会：石川県、地区大会：東京都（負担先：伝統的工芸品産業振興協会、関東ブロック伝産・文化協議会）】 負担金により開催されるイベント：2か所	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
3	<b>伝統的工芸品産業地域内循環支援事業</b>	- 千円	4,000 千円	予算現額 2,400 うち今回 △1,400 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県内企業等の伝統的工芸品を活用した取組みを支援	補助金	伝統的工芸品の活用促進を図るため、県内企業等が取組み、伝統的工芸品を活用した魅力発信、新規ビジネス創出等を補助 補助件数：8件	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
4	<b>長野県伝統的工芸品産業振興審議会運営事業</b>	- 千円	281 千円	予算現額 281 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	審議会の運営	直接	伝統的工芸品産業の振興に関する重要事項について調査審議し、産業労働行政に反映させるため、伝統的工芸品条例の規定に基づき、審議会を開催 審議会開催回数：1回	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
5	伝統的工芸品Reブランディング支援事業	10,515 千円	9,833 千円	予算現額 9,833 うち今回 補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	リブランディング支援	委託	伝統的工芸品の魅力を発信し浸透を図るため、イベント等を企画・開催 魅力発信回数：4回	
2	インターンシップの開催	委託	後継者の発掘を図るため、伝統的工芸品産業事業者の工房でインターンシップを開催 インターンシップ実施産地数：2産地	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
6	伝統的工芸品・クラフト連携促進事業	— 千円	— 千円	予算現額 9,135 うち今回 補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	伝統的工芸品とクラフトとの連携促進	補助金	日本で唯一の漆工の街“木曽平沢”地区で、伝統的工芸品とクラフトの交流の機会を創出するため、県内伝統的工芸品の最大産地である木曽漆器組合が行う伝統工芸とクラフトの連携を支援 伝統工芸とクラフトの交流の場創出数：1か所	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
7	伝統的工芸品産業後継者育成・販路開拓支援事業	8,478 千円	8,057 千円	予算現額 10,857 うち今回 補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	技術伝承講習会	委託	伝統技術・技能の継承や多様な担い手確保を図るため、伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技能者等を講師とした技術伝承講習会を開催（委託先：長野県中小企業団体中央会） 講習会開催回数30回	
2	新規就業者の定着促進支援	補助金	伝統的工芸品の製造に携わる新規就業者を対象として、その育成費用を助成 補助事業者数：3事業者	
3	展示販売会等開催・出展支援	委託	伝統的工芸品への関心を高めるため、長野県伝統工芸品展の開催や、信州ハンドクラフトフェスタへの出展を支援 （委託先：長野県中小企業団体中央会） 開催数：2回	